

相愛大学音楽学部・相愛高等学校音楽科・相愛大学附属音楽教室

# 相愛オーケストラ 第72回定期演奏会



バルトーク / ジーゲンビュルンゲンの踊り  
Bartók Béla / Tánze aus Siebenbürgen

レスピーギ / リュートのための古代舞曲とアリア 第3組曲  
Ottorino Respighi / Antiche Danze ed Arie per Liuto III.suite  
1. イタリアーナ 2. 宮廷のアリア 3. シチリアーナ 4. パッサカリア  
1. Italiana 2. Arie di Corte 3. Siciliana 4. Passacaglia

プロコフィエフ / バレエ音楽「ロメオとジュリエット」作品64 より  
Sergei Prokofiev / Romeo and Juliet Op.64  
モンタギュー家とキャピュレット家 ~ タイボルトの死  
Montagues and Capulets ~ Death of Tybalt

ドヴォルザーク / 交響曲第8番 ト長調 作品88  
Antonín Dvořák / Symphony No.8 in G Major, Op.88  
1. Allegro con brio 2. Adagio 3. Allegretto grazioso 4. Allegro ma non troppo

指揮：円光寺雅彦 管弦楽：相愛オーケストラ



ザ・シンフォニーホール

2019年10月23日(水) 18時30分開演 (17時30分開場)

17:45~18:10 相愛ジュニアオーケストラメンバー、相愛サクソフォンアンサンブルによるロビーコンサート



入場料：当日3,000円 / 前売2,500円(いずれも税込み)

(全席当日指定：16時30分より座席指定券と交換)

チケット：ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(10:00~18:00 火曜定休)

※会場整理の都合上座席に関するご希望には添えかねます ※未就学児童のご入場はご遠慮いただいております

主催：相愛大学 お問い合わせ：相愛大学 オーケストラ合同研究室 06-6612-3954(10:00~17:00) www.soai.ac.jp 後援：毎日新聞社

# 伝統と誇りの相愛オーケストラ

## 相愛オーケストラ

相愛オーケストラは1956年に創設。サイトウ・キネン・オーケストラにその名をとどめる名教育者、故斎藤秀雄教授の薫陶を受け、現在もその独自の指導法を継承しています。大きく5つの部門から構成され、相愛大学生及び相愛高校音楽科生による大編成の管弦楽「相愛シンフォニーオーケストラ」、相愛大学音楽学部弦楽器



専攻生による「相愛ストリングオーケストラ」、小学生から高校生による弦楽器を主体とする「相愛ジュニアオーケストラ」、そして相愛大学音楽学部管打楽器専攻生による「相愛ウィンドオーケストラ」、また2018年4月に相愛大学大学院音楽研究科が設置されたことを機に、大学院生、専任教員、卒業生などを中心とした「相愛フィルハーモニア」が新たに加わり総勢350名を擁するまでに発展してきました。秋にはザ・シンフォニーホールにて、また春にはいずみホールにて定期演奏会を華やかに開催してきました。さらに近年、相愛ウィンドオーケストラもザ・シンフォニーホールにて定期演奏会を開催するようになりました。指揮者陣にはイギリスでエリザベス女王より大英勲章を授けられた尾高忠明客員教授をはじめ、円光寺雅彦、梅田俊明、小林恵子の諸氏が名を列ねています。

これまで、関西圏はもちろん沖縄や中国、四国、東海、北陸に至る各地で演奏旅行を行ったほか、海外へも「相愛ジュニアオーケストラヨーロッパ演奏旅行」を3度にわたり敢行。訪れたロシア、ポーランド、ドイツ、イタリア、いずれの地においても絶賛を博しました。2008年には相愛学園創立120周年を記念し「相愛オーケストラヨーロッパ公演」をデュッセルドルフ、ワルシャワ、ミラノ各都市にて、また2010年には中国・瀋陽にて公演を行い、いずれも絶大な賞賛を得ています。

2013年には、第60回定期演奏会を迎え、相愛学園の総力を結集した「第九」を演奏し、幅広い層から絶賛されました。2014年には大阪での定期演奏会を含めた、福岡・広島・岡山の各地を巡る「相愛オーケストラ西日本ツアー」、2015年には「相愛ジュニアオーケストライタリア演奏旅行」、2017年、2018年には「相愛ジュニアオーケストラ淡路島公演」、2019年には「相愛ジュニアオーケストラ瀬戸内ツアー」を行い、いずれも好評を博しました。

## 円光寺 雅彦 指揮

Masahiko ENKOJI, Conductor



Photo © 三浦興一

1954年東京生まれ。桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学し、オトマール・スウィトナー氏に師事する。

1981年9月に帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団副指揮者に就任。1986年より同団指揮者となり、1991年3月までその任を務める。

1989年より1999年3月まで、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者としてオーケストラの飛躍的な発展に貢献、その実績は高く評価されている。東京特別公演のライブをはじめ、円光寺・仙台フィルの演奏は多数CD化されており、その演奏からもオーケストラと指揮者の密接な関係を窺う事ができる。

1998年5月より2001年4月まで正指揮者を務めた札幌交響楽団との取り組みは、2000年にサントリーホールにおける東京公演を指揮して好評を博すなど高く評価され、2011年4月から2019年3月までは名古屋フィル正指揮者として数多くの名演を共にしてきた。

NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィル、新日本フィル、大阪フィル、札幌交響楽団をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外では1992年スメタナホールにおけるプラハ交響楽団定期演奏会への客演をはじめ、1994年BBCウェールズ交響楽団、1995年にはドミトリー・キタエンコからの招きによりノルウェーのベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了してきた。

NHK「名曲アルバム」や「おーいニッポン」「あなたが主役～音楽のある街で」「あなたの街で夢コンサート」等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。相愛オーケストラ指揮者。

相愛大学ホームページ [www.soai.ac.jp](http://www.soai.ac.jp) にてチケットの扱いなど当演奏会のご案内をしております  
右QRコードよりアクセスしてください



相愛オーケストラ最新情報は  
facebookページから  
<https://www.facebook.com/SoaiOrchestra/>

